

使用方法

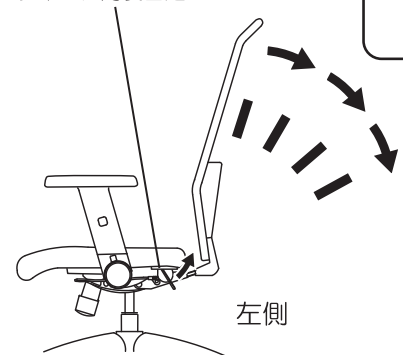
背もたれのロックング角度の固定と解除

背もたれに体重をかけ、ロックングさせた状態で、ロックング角度固定レバーを上げると、定位置で背もたれの角度が固定されます。
レバーを下げ、背もたれに体重をかけると「カチッ」という音がして背もたれの固定が解除されます。

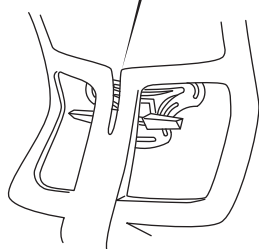
※背もたれは通常の位置を含め4段階に固定できます。

①指をはさまないように注意してください。

ロックング角度固定レバー



○背もたれのたて溝に指などを入れないでください。
→指が抜けなくなったり、ケガの原因になります。



背もたれのロックングの硬さ調節

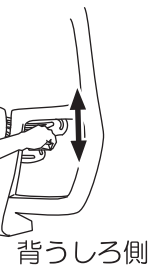
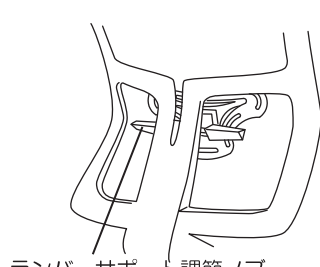
ロックング硬さ調節ノブを時計回りに回すとロックングの硬さが強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。

ロックング硬さ調節ノブ

弱
(loose) 強
(tight)

ランバーサポートの高さ調節

ランバーサポート調整ノブ（左右）を両手でにぎり、上下にスライドさせてお好みの高さに調節してください。



肘掛の調節

肘掛の高さは、肘柱の中央部のボタンを押し、肘掛を上下させて、適切な位置で固定してください。6段階に調節ができます。
肘掛を使わないときなどは、肘柱の下部のボタンを押し、肘掛を後に倒すことができます。元に戻すときも同様に操作し、肘掛を起こしてください。

肘掛高さ調節ボタン

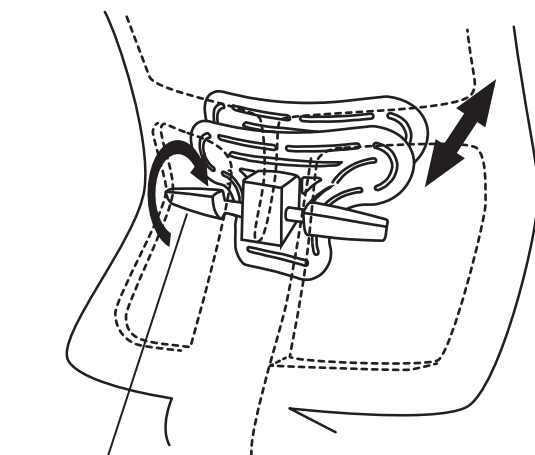
肘掛後倒しボタン



①指をはさまないように注意してください。
○肘掛に座ったりしないでください。
→転倒してけがをする原因になります。

ランバーサポートの前後調節

ランバーサポート調整ノブを回転させて、お好みの前後位置に調節してください。



ワイヤーレバーの調整について

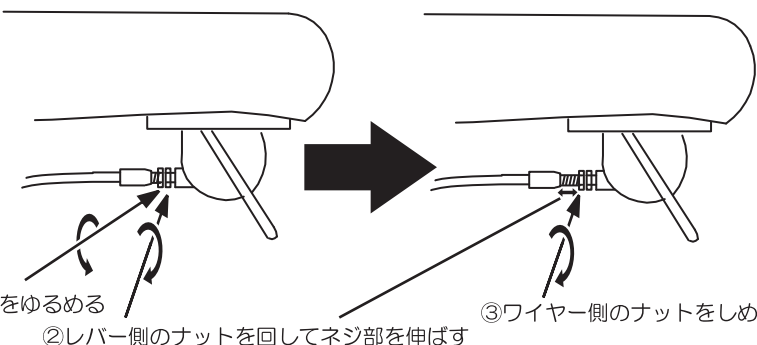
このチェアの座高調節レバー（座面下右前）と、ロックング角度固定レバー（座面下左後ろ）は、ワイヤー式レバーを採用しております。
使用しているうちに、レバーの作動性が悪くなった場合などは、右図のように、ワイヤーの張力調整をおこなってください。

※調整範囲はネジの見える長さで最大15mm程度までで調整してください。

①ワイヤー側のナットをゆるめる

②レバー側のナットを回してネジ部を伸ばす

③ワイヤー側のナットをしめる



KOIZUMI

保存用

JAG-1TK-522

組立説明書

このたびはコイズミ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立説明書をよくお読みのうえ、安全に正しく組立してください。
ご使用のまえには取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。
保証書はお買い上げ日、販売店名の記入を確認し、組立説明書といっしょに大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

●取り扱いを誤った場合に想定される危害・損害の程度を示しています



警告

「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。



注意

「傷害を負うまたは物的損害発生の恐れがある」内容です。

●お守りいただく内容を示しています



禁止

「行ってはいけない」内容です。



必ず守る

「行わなければならない」内容です。



注意

●組立および設置時の注意



禁止

組立および解体に電動ドライバーは使用しないでください。
→ボルト頭がつぶれて締め付け、取り外しができなくなる恐れがあります。



禁止

直射日光のあたる場所やヒーター、エアコンなどの温風が直接あたる場所への設置はおやめください。
→変形、変質、退色の原因となります。



必ず守る

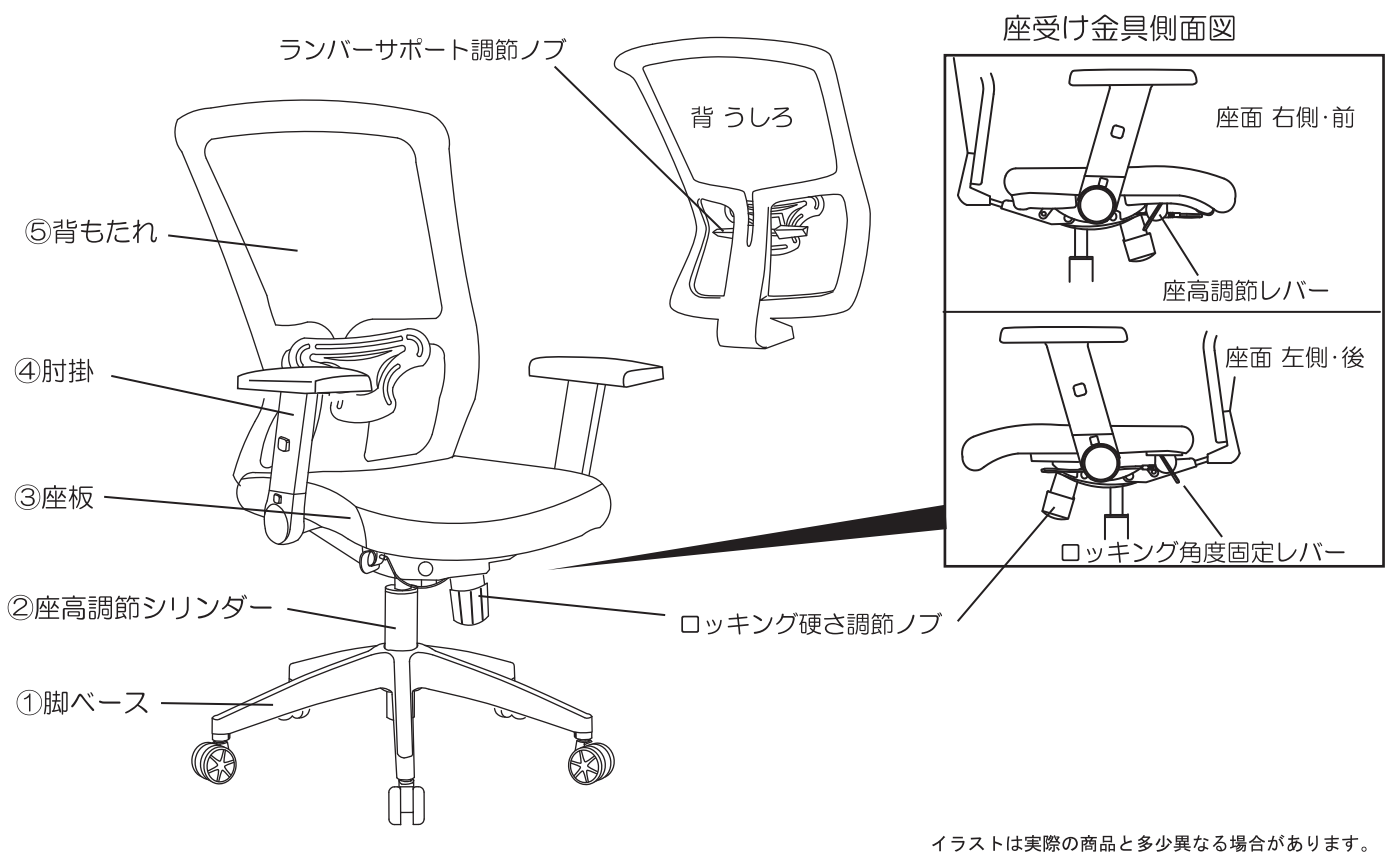
回転いすは組立完成後に脚ベース、座高調節シリンダー、座板がしっかりと固定されているか必ず確認してください。
→固定が不十分なままですと、イスを持ち上げた時に脱落してけがや破損する恐れがあります。



【品番】 ●JG5-201 BK ●JG5-202 RE ●JG5-203 SV
●JG5-204 BL ●JG5-205 OR

回転イス

各部の名称



構成部品

梱包されている部品がそろっているかを下表と照らし合わせて確認してください。

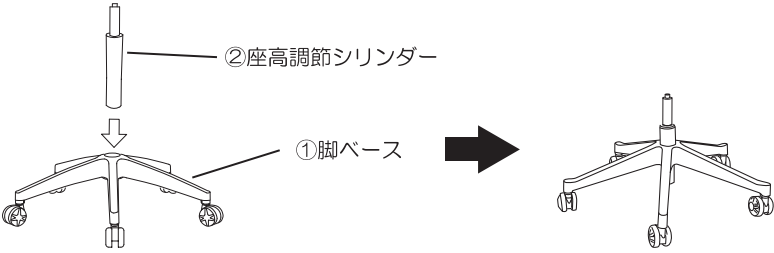
番号	部品名	姿図	数量
①脚ベース (キャスター付)			1
②座高調節シリンダー			1
③座板 (座受金具付) ＜④肘掛（左右）付＞			1
⑤背もたれ			1

番号	部品名	姿図	数量
⑥背固定ボルト (ワッシャ・ スプリングワッシャ付)			3セット
⑦背固定ボルト 専用六角レンチ			1

組立方法

1. 脚ベースと座高調節シリンダーの組み立て

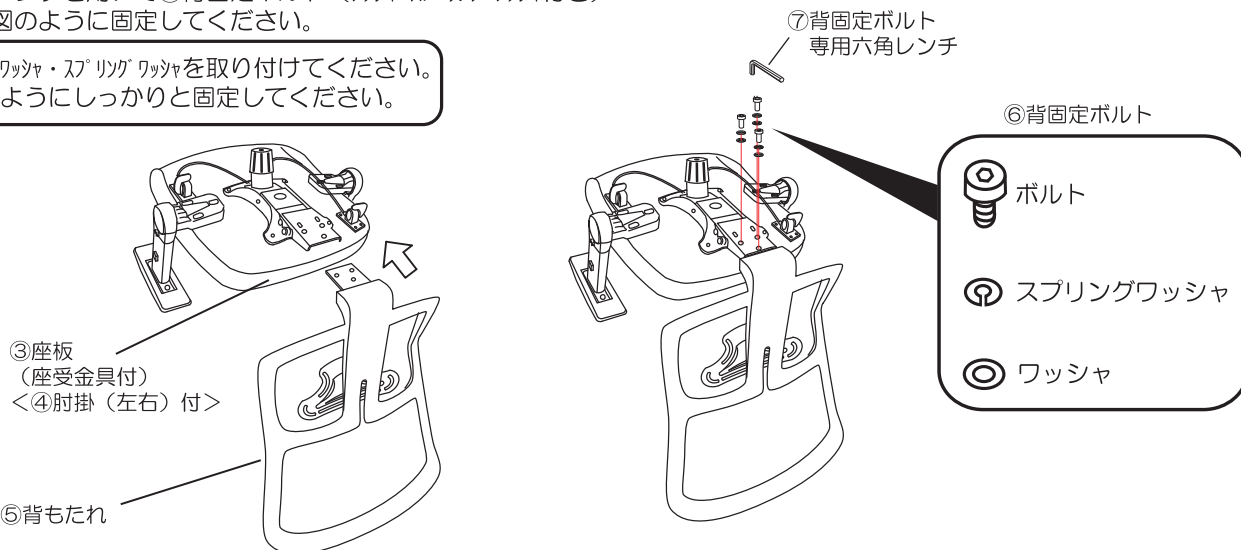
②座高調節シリンダーの下方（太い方）を①脚ベースに確実に挿入してください。



2. 背もたれと座板の組み立て

⑤背もたれを③座板（肘掛左右付き）の座受け金具に下図のように差し込み
付属の⑦六角レンチを用いて⑥背固定ボルト（ワッシャ・スプリングワッシャ付き）
3 セットで右図のように固定してください。

※図のようにワッシャ・スプリングワッシャを取り付けてください。
※緩みがないようにしっかりと固定してください。



3. 座板と座高調節シリンダーの組み立て

1. で組み立てた②座高調節シリンダーの上に2. で組立てた
③座板を差し込んでください。

※座板裏側の金具の中央の穴に差し込みます。

①座板を下まで下げて体重をかけて強く座り、脚、
シリンダー及び、座をしっかり固定してください。
➡座板がはずれて、けが、 破損の原因になります。

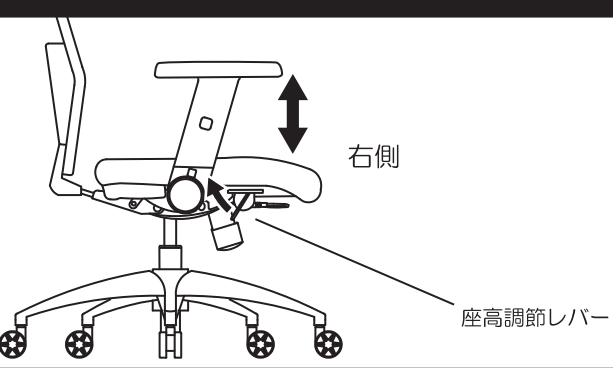


使用方法

座板の高さ調節

座ったまま座高調節レバーを引き上げると座が下がり、
腰をうかせて座高調節レバーを引き上げると座が上が
ります。
適切な位置でレバーを離すと座高が決まります。

①座の上に立たないでください。
➡倒れてけがをする原因になります。

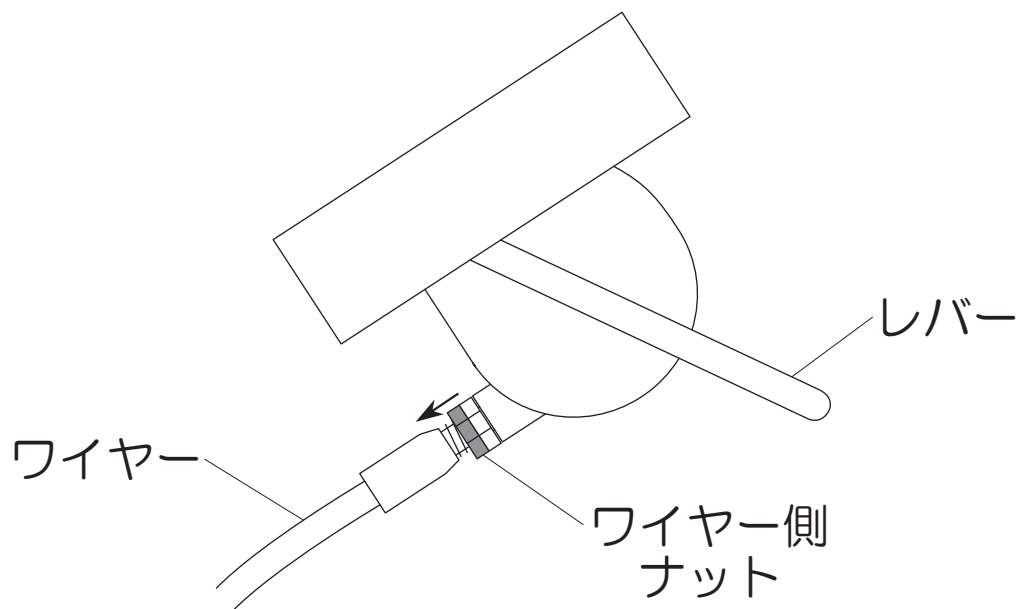


■JG5 補助組説

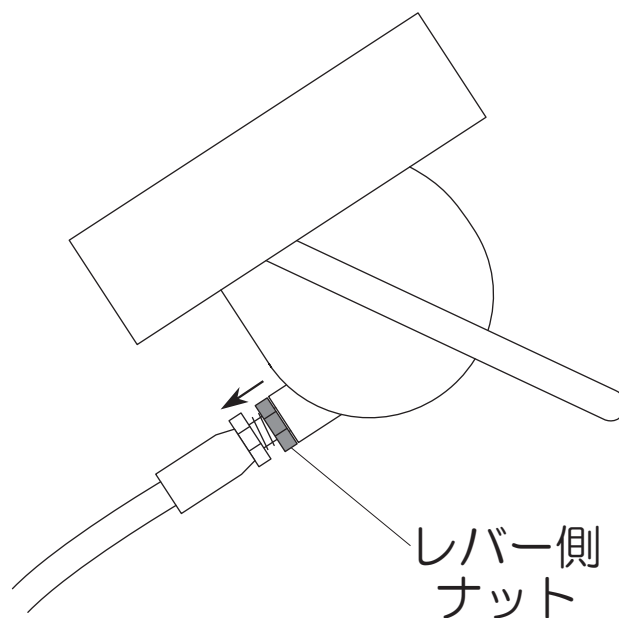
ワイヤー式レバーの調整方法

- 座面の下右前にある「座高調節レバー」と座面下左後にある「ロックング角度固定レバー」はワイヤー式レバーを採用しています。
- レバーの作動性が悪くなった場合、下記の手順で、ワイヤーの張力調整を行ってください。

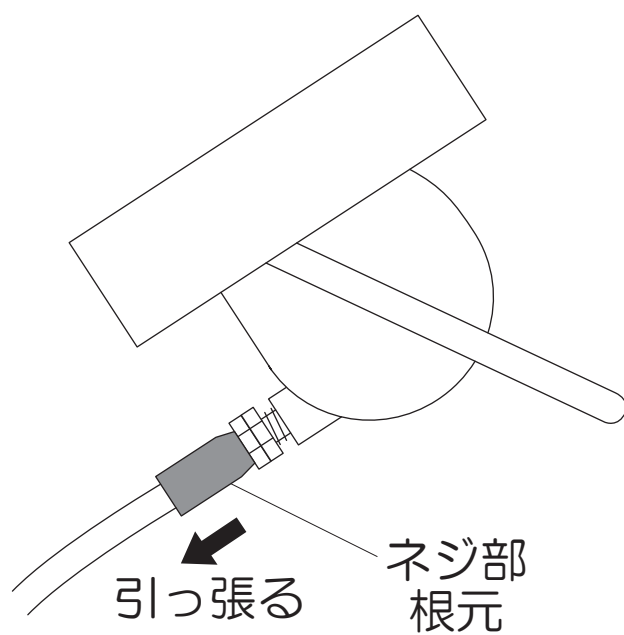
①ワイヤー側のナットを緩めてください。(ナットをワイヤー側へ回す)



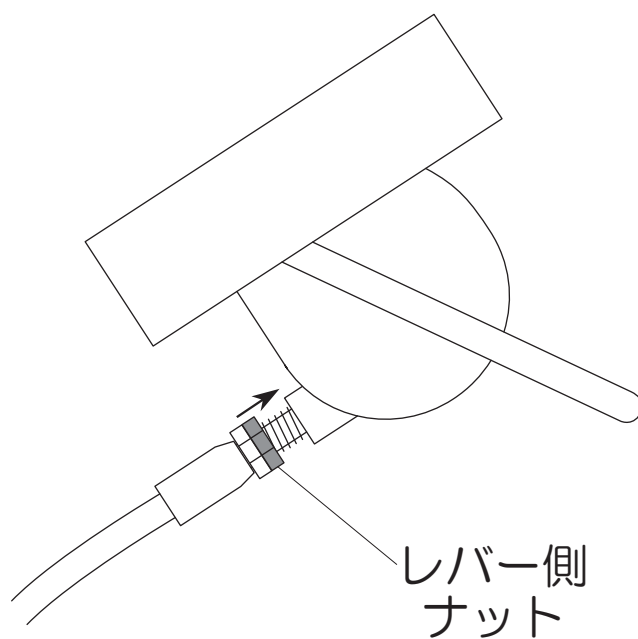
②レバー側のナットを緩めてください。(ナットをワイヤー側へ回す)



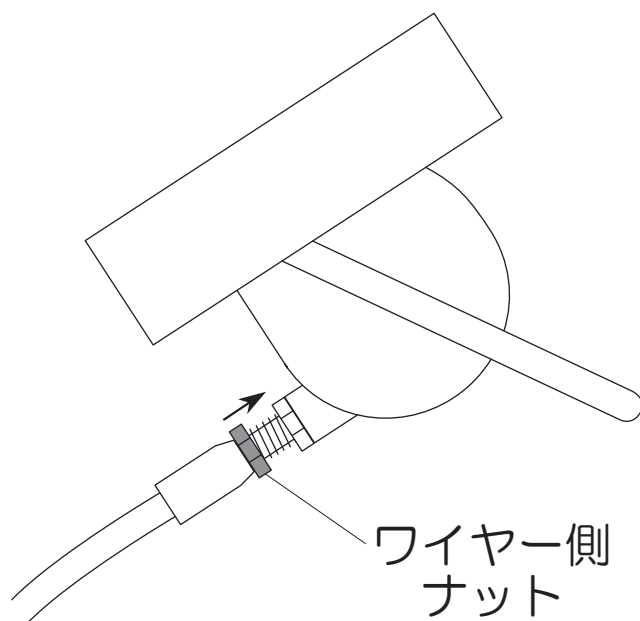
③ネジ部の根元を持ち、引っ張ってネジ部を伸ばしてください。



④レバー側のナットを締めてください。(ナットをレバー側へ回す)



⑤ワイヤー側のナットを締めてください。(ナットをレバー側へ回す)



⑥調整完了

